

あ ん ぐ る

「柱は梁、梁は柱の連続と
思え」、建物が建物である条
件がそこにある。私が28歳で
当時勤めていた会社を辞めて
「父の家業」を継いだころ、
この言葉を父から聞いた。当
時父は、付帯工事の請負をし
ていた。

正 直

「一度この
業界に入る
と抜けられ
ない」とも言われた。会社を
辞めない方が良いとのアドバ
イスだった。

西 村 繁

「家業」を持つのが我が家
の家訓。祖父も父もご維新以
来、曲がりなりににも体現し
てきた。時代は変わろうとも

「変わらないもの」を信じて
家族を養ってきたようだ。母
方の叔父は2・26事件で野中
大尉とともに警視庁に突っ込
んだ下士官だった。彼らから
はいろいろなことを無料でい
ただくことができ、それが今
日の私を「規定」した。

「正直」が何より大切と伝え
たい。敗戦後69年目でもう一
度元に戻る「パラダイムシフ
ト」が起きていることが現代
の誤り。人類共通の価値であ
る「情報公開・倫理の回復・
法の順守」は順番が大事。そ
れを取り違えた社会の末路が
現代の日本で、順番を都合よ
く間違えた「国・会社・家族
はこうなる宿命であろう。
原発事故、手抜き工事（手
抜きでなく工程管理ミス）、
職人不足、すべての間違いの
原点はここにある。それを直
す勇気はどこにもない。亡き
母は「口答え」すると余計に
怒り、「口答えするのは男で
ない」と叱られた。正直にや
ったことを告知する。そうす
ればこれ以上の被害者は福島
でも、どこにも出てこない。

（中島興業社長）